

専攻医研修 ローテーションモデル（以下、常勤研修部分）

Aコース 通常枠プログラム



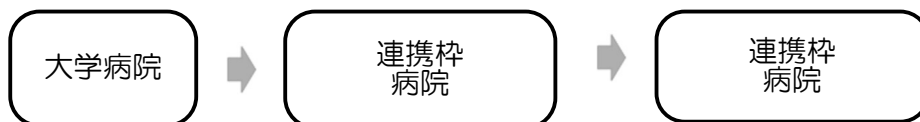
Aコース 通常枠プログラム

最初の1年または2年を基幹施設である久留米大学病院で研修し、2年目または3年目以降を連携施設病院でより深く学ぶ方式である。連携施設にはそれぞれの特徴があり、専攻医のニーズに合わせた研修が可能である。

※ 通常枠プログラムは、原則として1年以上はシーリングのない県で地域医療の研鑽を積む。

シーリングのない県の連携施設：宇和島病院 大貞病院 奥村日田病院 加藤病院
小島居諫早病院 下関病院 松ヶ丘病院 宮崎県立精神医療センター 宮之城病院 他

Bコース 連携枠プログラム



Bコース 連携枠プログラム

大学病院で1年～1年半研修後、地域連携と結んでいる病院で1年半～2年研修するパターン。

専攻医のニーズに合わせた研修、ならびに地域に密着した医療をしっかりと体験できる。研修修了後も、九州でさらなる研鑽を積むことが可能である。

連携枠：青木病院（栃木県） 宇和島病院（愛媛県）
奥村日田病院（大分県） 加藤病院（大分県）
下関病院（山口県） 土浦厚生病院（茨城県） 宮之城病院（鹿児島県）

Cコース 特別地域連携枠プログラム



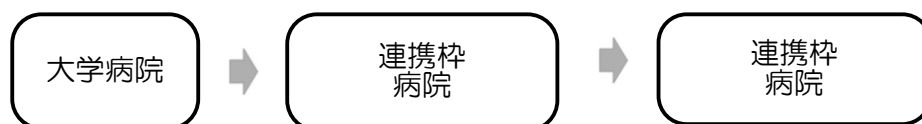
Cコース 特別地域連携枠プログラム

大学病院で1年～2年研修後、専攻医2年目または3年目で特別地域連携プログラムの連携施設で1年間研修するパターン。

地域に密着した医療をしっかりと体験できる。研修修了後は九州にてさらなる研鑽を積むことが可能である。

連携枠：川室記念病院（新潟県） 高田西城病院（新潟県）

Dコース 指定医枠プログラム



Dコース 指定医枠プログラム

大学病院で1年～1年半研修後、精神保健指定医枠としての連携病院で1年半～2年研修するパターン。地域に密着した医療をしっかりと体験できる。研修修了後も、九州にてさらなる研鑽を積むことが可能である。

連携枠：小島居諫早病院（長崎県） 松ヶ丘病院（島根県）